

SSHS 図書館だより

10月号 2022.10.01

10月の記念日

スポーツの日（旧体育の日）：第2月曜日
2020年に「体育の日」から改称。

「体育の日」は、1964年に開催された東京オリンピックを記念して「スポーツにしたいし、健康な心身をつちかう日」として、1966年に制定されました。

スポーツをする人・見る人・読む人へ、「秋のオススメ本」から1冊紹介します。

『タスキメシ』

額賀 滯 小学館

陸上の名門高校で長距離走選手として将来を期待されていた眞家早馬は、怪我のため練習ができない。そんな時、調理実習部の女子に出会い、料理に目覚める。同じ陸上部の1学年下の弟、部長である親友等は、早馬が競技に戻ってくることを待っているが…。

駅伝に青春をかける高校生の熱い想いが伝わってくる感動小説！

図書館からのお知らせ

ビブリオバトル開催

9月28日(木)に、図書館において、ビブリオバトル校内決勝戦が開催され、予選を勝ち抜いた8人のバトルがそれぞれ思い入れのある本を紹介しました。チャンプ本となったのは、浅倉秋成著『六人の嘘つきな大学生』です。優勝者は、10月30日(日)に開催される東京都大会に出場します。『六人の嘘つきな大学生』は、2022年本屋大賞にノミネートされていた本で、図書館にもありますので、ぜひ手に取ってみてください。



ほんの情報

“読書記録”

以前に読んだ本の名前をどうしても思い出せなかったことはありませんか？読書の記録をつけていれば、そうしたことはなくなります。

“読書記録”とは、「読んだ本」や「読みたい本」を忘れないように記録しておくことです。読んだ日付や書名、著者名、出版社名、感想、気になった点などを記録しておくことで、後で思い出すことが簡単ですし、アイデアの材料になったりもします。

“読書記録”をつける方法として

- ① 「読書ノート」
- ② 「読書管理アプリ」
- ③ 「読書通帳」 / 「図書通帳」

などがあります。①は、自分でノートやカードに必要事項を記入したり、新聞や雑誌の記事をコラージュするなどして、自分仕様に作成します。③は、主に図書館で配布されているもので、読書の履歴等を書き込めるようになっています。

手書きするのは面倒、という人には、②の「読書アプリ」がオススメです。書名の検索やバーコード撮影で、簡単に本の登録ができますし、アプリによってはSNSで本の感想を他の人と共有できたりします。読んだ頁数や冊数を、グラフ化できるアプリもあり、読書のモチベーション維持につながりそうです。

「読書管理アプリ」には、「読書管理ブックログ」・「読書メーター」・「読書管理ビブリア」など様々な種類があります。それぞれ機能が少しずつ異なるので、自分が必要な機能がついているアプリを選ぶようにしましょう。

自分にあった方法で、“読書記録”をつけることによって、読書の世界が広がることと思います。

『明日の自分が確実に変わる10分読書』

吉田 裕子 集英社

著者の経験を交えながら、読書の素晴らしさを伝える1冊。たかが10分されど10分。1日10分の読書で自分が変わると著者は語る。今回紹介した“読書記録”についても、「読書管理アプリ」をはじめ、いくつか取り上げているので、参考にしてみても？

